

平成30年度東北六州市町村教育委員会連合会

教育委員・教育長研修会 会長あいさつ

平成30年度東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、この度の西日本を襲った記録的な豪雨によって多くの尊い命が奪われました。また、被災された方々も数多くいらっしゃいます。心よりご冥福と、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、本日は、東北各地から、このように多くの皆様からご参加いただき、厚くお礼を申し上げます。また、日頃から、当連合会の運営にあたり、深甚なるご理解とご協力を賜り、重ねて御礼を申し上げます。

また、本日ご多用のところ、ご来賓として、山形県教育委員会教育長 廣瀬渉様、山形市長 佐藤孝弘様、全国市町村教育委員会連合会事務局長 新海 今朝巳様のご臨席のもと研修会を開催できますことは、誠に喜ばしく、心よりお礼を申し上げます。

各市町村教育委員会におかれましては、平成27年4月1日に改正施行された、「地方教育行政の組織と運営に関する法律」に対応した組織体制、いわゆる新教育長、新教育委員会制度への移行が着実に進められております。改正から4年目を迎え、本年度で全ての市町村教委が新教育長制度・新教育委員会制度に移行を完了することとなります。

しかし、当連合会や各市町村教委が新たな組織体制となっても、教育委員の皆様方の役割や活動の重要性には何ら変わりはありません。むしろ教育行政のチェック機能としての役割が増していると感じているところです。今後とも、各教育委員会の活性化に向けて、共に努力して参りましょう。

ところで、今年度から、新しい学習指導要領の先行実施・移行措置が行われております。どの市町村教委でも、全面实施に向けて、教育環境の整備などの対応に追われていることと存じます。

また、各市町村において生じる諸課題の解決のために、懸命に尽力されている毎日ではないでしょうか。子ども達や教職員、各学校が直面している様々な問題や課題を正面からとらえ、迅速且つ的確に、一つひとつに対して、責任ある対応を取っていくことが、私達市町村教委の重要な使命です。

さらに、学校現場の働き方改革を進め、教員のより良いワークライフバランスの実現と、子どもと向き合う時間の確保についても着実に進めていかなければなりません。課題は山積しております。

この様な折、東北六県の各市町村教育委員会の皆様が一堂に会し、本研修会が開催されることは、誠に意義深いものと考えているところです。

本日は、山形県鶴岡市のイタリア料理店「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフの奥田 政行様をお招きし、「食から始まる人づくりと地域づくり」と題して、ご講演いただきます。

また、文部科学省初等中等教育局主任視学官清原 洋一様をお招きし、「新学習指導要領実施に向けた取組の具体的事例に学ぶ」と題して、ご講演をいただくこととなっております。

講師の皆様には、ご多用中にもかかわらず、講演をお引き受けいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

本日の研修会が、東北各県の教育委員・教育長の皆様にとりまして、実り多きものとなり、各市町村教育委員会のますますの充実・発展への一助となりましたら、幸いに存じます。

結びになりますが、本日ご参会の皆様のご健勝とご活躍、また、それぞれの市町村、そして東北全体の教育の振興と充実・発展をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。